

玉垂

宮川の紅葉（平成25年11月24日）

<http://www.okunijinja.or.jp>

年の瀬の折から

第六十二回神宮式年遷宮が十月二日に内宮、五日に外宮にて恙なく斎行されましたことは、洵に慶ばしい限りであります。この永遠なる祈りを次の世代に間違いなく伝えていくためには、引き続き神宮大麻の頒布及び奉賛、参宮団活動を力強く継続していくとともに、その意義を深く理解して戴くことが最も大切であることを再確認いたしました次第であります。

さて、今年の紅葉は十一月初旬まで暖かく、色づきが一週間程度遅れました。しかし、遅れたお陰で境内各所の見頃が、例年になく同時期に揃いました。毎年紅葉を撮影している新聞社のカメラマンが、十年に一度の風景と感動しつつ、撮影に熱が入っております。また、当社の紅葉スポットは主に宮川沿いにあります。木々の間から光が差した紅葉を裏側から見られる場所はとても人気があり、絶えず観賞される方々が居られました。新東名開通後二回目の紅葉時期は、この様に一般の参拝者と団体の参拝者とが入り交じり、平日でも多くの皆様方にお楽しみを戴いたことと存じます。

ところで、社務所裏手に悠然と構える「御神木・ひょうの木」の周辺整備が実施されました。作家・白洲正子氏も文庫本に紹介し、テレビ・雑誌等でも報道されるなど、縁結びの木として広く知られております。若い女性層が主な参拝者ですが、お子様連れのご家族もお見えになっております。長い時間祈っておられる方や「ひょうの実」を探している方など参拝作法は様々です。祈りが済んだ方の顔を見ると、ほとんど全員が微笑んでいます。心が清々しくなり、神霊からのご加護を早くも戴いたと思われまます。

師走と聞くと何かと慌ただしくなってしまう。当社の迎春準備は日々粛々と進めており、大晦日には師走の大祓を斎行いたします。氏子崇敬者の皆様方には、呉々もご自愛の上良い午年をお迎え下さいますようお願い申し上げます。

新嘗祭の齋行・奉納農産物品評会の表彰

境内の紅葉が見頃を迎え、大勢の参拝者で賑わう十一月二十三日、新嘗祭が斎行されました。

ご神前には氏子の皆様方よりご奉納いただきました農産物をお供えし、大前に今年一年の豊穰をご奉告、感謝申し上げます。

また、舞殿横にて当社振興会の主催により、今回で五十七回目を迎える奉納農産物品評会が開催されました。本年は台風の上陸等天候不順の影響もあり、農作物の手入れが大変な年でありました。この様な状況にもかかわらず、氏子の皆様方より出品をいただきました二九五点もの奉納農産物は、新嘗祭斎行後の即売会にて大盛況のうち完売となりました。

ここに品評会にて受賞された方々をご報告させていただきますとともに、ご協力いただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。

〈協力賞〉

- 第一位 牛 飼部農会
- 第二位 上川原部農会
- 第三位 円田上部農会
- 第四位 橘 部農会
- 第五位 中川上部農会

〈小國神社賞〉

- 米 宮代西 鈴木 功
- 白菜 中川上 本多 利吉
- 茶 中川上 本多 利吉
- 治郎柿 谷 中 西尾 貞雄
- メロン 片 瀬 菅沼 克成
- メロン 瀬 菅沼 克成
- 米 橋 白幡 富幸

〔遠州中央農業協同組合代表理事長賞〕



奉納農産物品評会への出品物 (11月23日)



新嘗祭の参進 (11月23日)

〈特別賞〉

- 米 円田上 鈴木三千雄
- レタス 谷 中 村松 久雄
- 椎茸 橘 中根 輝雄
- 治郎柿 谷 中 井口 始
- 小豆 円田下 鈴木 和則
- 大根 片 瀬 毛利 正雄
- なめ茸 橘 中村 隆好
- メロン 片 瀬 菅沼 克成
- メロン 米 倉 平田 秀幸

〈特等賞〉

- 米 宮代西 鈴木 功
- ネギ 円田上 鈴木 紀雄
- 里芋 片 瀬 松田 孝一
- ヤマイモ 中川上 永澤 洋志
- みかん 上川原 鈴木 英夫
- 九点出品 円田下 鈴木 照男

(敬称略)

篤志奉納者へ感謝状の贈呈

十一月二十三日の新嘗祭齋行後、拝殿におきまして篤志奉納者の皆様に感謝状と記念品の贈呈をいたしました。

ご奉納いただきました皆様のご芳名を掲載し、改めて厚く御礼申し上げます。

- 御祭禮 大幟 宮代氏子中
- 御祭禮 幟竿 円田氏子中
- 絵画「木本祭」 鳥居 禮
- キルトアート「香久の舞」 徳嵩よし江
- みもろ焼 花入 田米 和好
- 浄財 鈴木 愛子
- 株式会社 ツカモト
- 代表取締役 塚本 喜好
- 富永 修市
- 桑原 勝郎
- 鈴木 照男
- 萩原 幸男
- 兼子 弘史
- 兼子 友秀

(順不同・敬称略)



徳嵩よし江氏奉納・キルトアート「香久の舞」(6月1日)

「紅葉まつり」の開催

十一月二十四日、紅葉の見頃を迎えた境内において恒例の「紅葉まつり」を開催いたしました。秋日和に恵まれ多くの参拝者が訪れる中、舞殿におきまして宮川の紅葉を背景に琴の奉納演奏、斎館前では野点が行われました。また、甘酒や当社敬神婦人会によるお汁粉が振る舞われました。

日中の陽光を浴びた紅葉は神々しく光り輝き、夜は幻想的に映り、ご参拝の皆様は晩秋のひとときをお楽しみいただきました。



淡交会のお茶席 (11月24日)

遠州とこわか塾 第四期の開催

九月一日より「遠州とこわか塾」第四期（平成二十五年九月一日～平成二十六年八月三十一日）が開塾し、九月二十九日（日）に第一回目が開催されました。

講師といたしましたして、親子をつなぐ学びのスペース「リレイト」の代表であり、二宮金二郎第七代目の子孫にあたる中桐万里子先生をお招きし、「幸せ探しの達人 二宮金二郎」～その生涯から継承するもの～と題しまして、講話いただきました。

二宮金二郎はどなたもご存じだと思いますが、身内では知り得ない人となりや報徳の教えをわかりやすくお話しただきました。殊に二宮金二郎の教えについては、正しい捉え方を明確に説明され、本来の意義を知りうるこ

とが出来ました。
第二回目は十二月八日（日）に開催され、当塾での講演は二回目となります。森町ご出身の日本大学教授百地章先生をお招きし、憲法改正についてご講話をいただきました。



講師・中桐万里子氏（9月29日）

御神木「ひょうの木」周辺整備

「ひょうの木」は、第二鳥居の手前を西側に進み、西参道を北進した所にあります。男神と女神の契りの伝説もあり、古来より「縁結び」の御神木として信仰され、県内外よりの参拝者の多くが訪れるスポットになっています。また、平成十六年には、森町教育委員会より天然記念物に指定されました。

この度、ご参拝の方々の増加に伴い保全のため、周辺整備を実施いたしました。敷地内に塀を張り巡らし、さらに根の保護のため盛土を施工いたしました。今後とも末永く後世に伝えられるよう、見守り続けてまいります。



「ひょうの木」の周辺整備（10月2日）

舞楽保存会 神宮遷宮奉祝につき舞楽奉納

本年は第六十二回神宮式年遷宮が行われる慶賀の年にあたり、去る十月二日に内宮、また十月五日外宮においてそれぞれ遷御の儀が滞りなく斎行されました。それに伴い神宮におかれましては、遷宮の奉祝行事といたしました。これをうけまして静岡県からは、当社の古式舞楽保存会を含め三団体が申請をし、奉納の許可をいただきました。

当団体は、十月二十六日（土）午後一時十五分より一時間に亘り内宮特設舞台において奉納させていただきました。演目は「連舞」、「太平楽」、「新まっく」、「獅子」の四曲で、師匠をはじめ子供及び大人の舞人と合わせて二十二名での奉納となりました。当日は台風一過でやや風が残る中ではありましたがさわやかな秋晴れとなり、観覧席は多くの参拝者の方で埋め尽くされ、ご観賞いただきました。

二十一年に一度の国民ごぞつてのお祝いに参加し奉納させていただきましたことは、この上なく光栄なことであり、奉仕者及び関係者一同大いに感銘をいたしました。



舞楽「太平楽」の奉納（10月26日）

総代会視察研修の実施

小國神社総代会では隔年にて行っております視察研修を、九月二日から三日の一泊二日の日程で実施いたしました。今回は総勢二十三名にて長野方面への視察研修となりました。

主な視察先としては、天の岩戸を由来とし岩戸開きに功績のあった神々をお祀りしている戸隠神社に正式参拝をいたしました。正式参拝後は藤井茂信宮司様よりのご挨拶に続き、丁寧に御由緒の説明を戴きました。

また続いて参詣した「牛に引かれて」の故事で有名な善光寺では、雨に降られるなど生憎の天候ではありましたが、仏門宗派を問わない大寺院の様相を感じる事が出来ました。

視察研修中には懇談会を行うなど、総代同士の親睦をより深める有意義な二日間となりました。



戸隠神社の正式参拝（9月3日）

舞楽伝承所の施設整備

宮川沿いにあります記念館（舞屋）の施設整備工事を実施致しました。現在の建物は、昭和二十七年に当社に伝わる十二段舞楽が国の無形民俗文化財に指定されたことを記念して建設されました。長き年月を重ね利用に支障をきたすようになりましたので、通学合宿にて宿泊する子供達を始め利用する方の利便を考慮し、先ず浴室をユニットバスに、台所は当社の古式神酒を調製する釜戸を残しシステムキッチンへと改修致しました。さらに縁結びの御神木周辺の整備に伴い移転することとなりました山林備人及び交通整理員の控室を併設し、業務の円滑化を図っております。この度の施設整備により利便性が向上しました記念館を舞楽保存会の皆様に一層ご活用いただき、古式舞楽の保存伝承に努めていただきますたく存じます。



新装された記念館台所

参拝者駐車場の整備

旧アスレチック場内に駐車場を新設整備いたしました。（二百台）



新設の参拝者駐車場（11月1日）

久米吉「宮川棧敷」がオープン

宮川の清流のほとりで行いただくお食事は、とても風流でした。



久米吉「宮川棧敷」(10月31日)

森町ライオンズクラブより 車椅子・歩行車の寄贈

森町ライオンズクラブより車椅子三台と歩行車二台を寄贈頂きました。同クラブのチャーターナイト五十周年を記念し社会奉仕の一環として実施されたものです。十一月十日、森町文化会館に於いて式典委員長小倉豊寿氏より目録の贈呈がありました。

近年、参拝者の増加に伴い当社の社頭でも車椅子でのご参拝の方が増えてまいりました。寄贈頂きました品々は境内に配備し、ご参拝の皆様にお使い戴けるように致しますので、ご利用の際は社務所までお声掛け願います。

森町ライオンズ

クラブ会員の皆様には厚く御礼を申し上げます。と共に、貴会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。



鳥居禮画伯による舞楽絵 「鳥の舞」が完成



古式舞楽「鳥の舞」



七五三詣り(11月16日)



菊花展「小菊盆栽」(11月6日)

まつり歳時記

十二月〜三月

十二月 師走

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十四日 鎮火祭 (午後三時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 十八日 滝宮社例祭 (午前十時)
- 十八日 初穂献納祭 (午前十一時半)
- 二十三日 天長祭 (午前九時)
- 二十四日 甲子祭 (午前九時)
- 二十五日 煤払祭 (午後一時)
- 三十一日 大祓式・除夜祭 (午後三時)

一月 睦月

- 一日 初祈禱祭 (午前零時)
- 一日 歳旦祭 (午前三時)
- 二日 日供始祭 (午前八時)
- 三日 元始祭・追儺祭 (午前八時)
- 三日 田遊祭 (午後一時)
- 六日 寒の丑日水汲祭 (午前二時)
- 六日 本宮山例祭 (午前十時)
- 七日 昭和天皇祭遙拝式 (午前八時)
- 七日 神明宮参拝 (午前九時)
- 十一日 手鉞始祭 (午前九時)
- 十七日 八王子社例祭 (午前九時)
- 十七日 御弓始祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 十九日 どんと焼祭 (午前九時)
- 二十日 二月三日 厄除大祭 (午前九時)

二月 如月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 三日 節分祭世話人祈禱祭 (午前十一時)
- 三日 節分祭 (午後二時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十一日 紀元祭 (午前十時半)
- 十五日 養社聖子社白社例祭 (午前九時)
- 十五日 塩井神社例祭 (午前十時)
- 十八日 祈年祭 (午前十時)
- 二十一日 初甲子祭 (午前九時)

三月 弥生

- 一日 月次祭 (午前九時)
 - 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
 - 十八日 月次祭 (午前九時)
 - 十八日 真田城趾慰霊祭 (午前十時半)
 - 十八日 鉞執社例祭 (午後一時半)
 - 二十一日 春季皇霊祭遙拝式 (午前八時)
- 〔例祭日程のお知らせ〕
- 四月 十七日 前日祭 (午前十時)
 - 十八日 例祭 (午前十時)
 - 十九日 舞楽奉奏 (午後二時)
 - 二十日 舞楽奉奏 (午前十一時)
 - 二十日 神幸祭 (午後二時)

師走の大祓

十二月三十一日午後三時より師走(年越)の大祓式を斎行致します。当日、ご参列いただければ神職ともにお祓いをお受けいただけますので是非ともご家族の皆様お揃いでお申し込みの上、ご参列いただきますようご案内申し上げます。

尚、大祓の人形は一ヶ月前より、御祈禱をお受けいただきました方々に、または社頭にてお頒け致しております。ご希望の方は当社までお問い合わせ下さい。

皆様と一緒にお願いをして、清々しく新たな気持ちで新年を迎えましょう。

小國神社社務所 大祓係
TEL 〇五三八一八九七三〇二
FAX 〇五三八一八九七三六七



師走の大祓 (平成24年12月31日)

古代の森シリーズ 39

雅楽

雅楽は「世界最古のオーケストラ」とも言われる日本の伝統音楽です。中国・朝鮮から五世紀頃から伝来し、上代からあった日本古来の舞や音楽と融合し、十世紀頃には現在の形になりました。以来千年近い時を超え、今日まで伝わっています。雅楽は主に笙(しよう)・箏(びょう)・篳篥(ひちりき)・龍笛(りゅうてき)の三つの吹物、琵琶・箏の弾物、太鼓・鉦鼓(しょうこ)・鞆鼓(かっこ)の打物によって演奏されます。雅楽の中でも最も有名な曲である「越天楽(えてんらく)」は、祭典やご祈禱でも演奏されるので、お聞き覚えの有る方も多いと思います。当社では五名の伶人により、例祭をはじめとする重要な祭典には奏楽のご奉仕をいただいております。



新嘗祭奉仕の伶人 (11月23日)

新春祈禱のご案内

平成二十六年の新春祈禱を例年通りご奉仕いたします。

当日の受付は大変混雑いたしますので、年内の予約受付をご利用下さいますようお願い申し上げます。

尚、個人のご祈禱は当日受付にて毎日ご奉仕いたしております。

ご家族、皆様お揃いでご参拝ください。

- 一、予約対象 会社及び個人事業者
- 一、申込方法 電話またはFAX等にて申し受けます。



どんど焼 (平成26年は1月19日に斎行)



田遊び神事 (1月3日に斎行)



開運だるま・大國だるまの授与(元旦より)

- 一、ご相談、ご不明の点がありましたら、左記までお問い合わせください。

小國神社 新春祈禱予約係
 TEL 〇五三八一八九七三〇二
 FAX 〇五三八一八九七三六七

厄除大祭のご案内

二月二十日～二月三日

人生の節目に当たる厄年は、健康、仕事、私生活などあらゆる面で難にありやすい年頃とされ、無事を願う気持ちは今も昔も変わりません。

小國神社では一月二十日より二月三日まで厄除大祭を執り行います。平成二十六年の厄年に当たる方は、「厄除」のご祈禱をお受けになり、健やかに日々の生活をお過ごし下さい。

尚、二月三日は混雑いたしますので、お早めにお越しくださいますようご案内申し上げます。

- 祈禱料 五、〇〇〇円より
- 厄除大祭神札及び御守を授与いたします。

○祈禱受付 午前九時～午後四時

平成26年 厄年表

男	前厄	本厄	後厄
	昭和30年 60才	昭和29年 61才	昭和28年 62才
性	昭和49年 41才	昭和48年 42才	昭和47年 43才
	平成3年 24才	平成2年 25才	昭和63年 平成元年 26才
女	前厄	本厄	後厄
	昭和54年 36才	昭和53年 37才	昭和52年 38才
性	昭和58年 32才	昭和57年 33才	昭和56年 34才
	平成9年 18才	平成8年 19才	平成7年 20才



えんむすび守



もみじ縁結び守 (2色)

初穂料各八〇〇円にて授与いたします。

新しい「もみじ縁結び守」と「えんむすび守」のご案内



「小國の杜」点描

お田植え奉仕の旭が丘中学校生徒の皆様(6月2日)



盆栽の美 ―名品展― の開催 (12月1日)



遠州みもろ焼・別所窯の初窯 (6月7日)



敬神婦人会による国旗作り奉仕 (11月3日)



振興会による宮川紅葉の掃除奉仕 (11月8日)

平成二十五年十二月十八日
 「玉垂」(たまだれ) 第三十九号
 題字揮毫 神社本廳元総長 工藤 伊豆
 発行 小國神社社務所
 郵便番号 四三七一〇二二六
 住所 静岡県周智郡森町一宮三五九六六一
 電話番号 〇五三八(八九) 七三〇二
 FAX 〇五三八(八九) 七三六七
 印刷 ㈲デザインオイス エムエスシー

表紙写真について

平成二十五年十一月二十四日(日)午前十時境内を北から南に流れる宮川の upstream にて、晩秋の紅葉を撮影いたしました。
 上流に続く川沿いの遊歩道ではご家族で写真撮影や散歩をしている光景が良く見受けられます。

〇十二月初旬、ソチオリンピックへ出場予定のスキーマルチン・ゲルバウマン選手の出場祈願を齎行いたしました。二人が幼い頃、お母様と参拝されたご縁にてのご祈願でありました。

編集後記

〇「玉垂」三十九号をお届けいたします。秋の祭事行事と整備関係を中心に報告させて頂きました。渋滞対策を考慮して旧アスレチック場内に新設整備いたしました参拝者用の駐車場は、紅葉シーズに稼働を初めました。早急に渋滞解消の効果がありました。今後も更に整備し、有効に活用してまいります。



巫女
吉崎 すずか
ご指導・ご鞭撻の程
宜しくお願いいたします。



出仕
狩野 圭祐

新職員紹介